

社会資本総合整備計画 中間評価シート

防災・安全社会資本整備交付金

小美玉市の安心安全なうるおいあるまちづくり(防災・安全)

平成29年8月

小 美 玉 市

様式3 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	小美玉市	計画名	小美玉市の安心安全なうるおいあるまちづくり(防災・安全)						
交付期間	平成26年度～平成30年度(5年間)		事後評価実施予定時期	平成31年度	中間評価実施時期	平成29年8月	交付対象事業費	1,423百万円	国費率	0.55		
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施済み、実施中、実施予定の事業		事業名			事業進捗の状況(順調か、遅れているか)						
			A1 地方道路整備事業	市道改良・歩道整備事業 6路線			3路線は、計画期間内に完成予定。 2路線は、事業を進めているが、計画期間内の完成は難しい。					
	当初計画から削除した事業		事業名			削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
			A1 地方道路整備事業	市道改良・歩道整備事業 1路線		地権者の協力が得られず事業を進められないため。		代替路の整備により対策を行うため、数値目標に影響はない。				
	新たに追加した事業		A1 地方道路整備事業	市道改良・歩道整備事業 1路線		対策箇所を追加されたため。		期間内に事業を完了することは難しいが、事業を推進することで通学路の安全を確保することが出来る。				
交付期間の変更		当初	平成26年度～平成30年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—						
		変更	—									
2)社会資本総合整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	中間評価 計測年度		目標の達成見込み		総合所見	今後の対応方針	
	指標1	通学路安全対策整備率	%	0	H25	80	H30	63	H28	あり ●	道路管理者分(市)の対策は順調に進んでいるが、道路整備については事業中であり、工事が完成しないと効果は発現しない。	道路整備にかかる各事業を促進する。
	指標2									あり なし		
	指標3									あり なし		
	指標4									あり なし		
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値 基準年度	目標値 目標年度	中間評価 計測年度		目標の達成見込み		総合所見	今後の対応方針	
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
4)定性的な効果発現状況		—										
5)実施過程の評価	成果目標の確認		実施内容			実施状況			今後の対応方針等			
			通学路安全対策連絡会議			社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した			● 実施状況の確認、危険箇所の見直しを進める。			
	住民参加プロセス		—			社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない						
持続的なまちづくり体制の構築		—			社会資本総合整備計画に記載し、実施できた 社会資本総合整備計画に記載はなかったが、実施した モニタリング時点では実施していない							
6)中間評価の所見		総合所見	順調	●	事業進捗に期間を要する事業があるが、期間内に整備目標の達成に向け、対策を進めている。		今後の事業の改善点		計画期間内に整備が完了しない事業があるため、計画期間の変更を検討する。また、連絡会議において追加される危険箇所の対策を行うため、本計画期間にとらわれず、次期計画での完成を含めた計画の見直しを行う必要がある。			
			要改善									

社会資本総合整備計画

防災・安全社会資本整備交付金

小美玉市の安心安全なうるおいあるまちづくり(防災・安全)

平成29年3月

小 美 玉 市

社会資本総合整備計画

計画の名称	1 小美玉市の安心安全なうらおいあるまちづくり (防災・安全)			重点計画の該当	○
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5年間)	交付対象	小美玉市		
計画の目標					

市民が安心・安全な生活を過ごせるために、安全で快適に通学ができる通学路整備、災害に強い道路構造物等の強化、歩行者と自転車に優しい安全な道路など多様な機能を十分に発揮させる道路政策を実施することにより、市民生活にうらおいと安心を与え、市内の基盤整備を充実させる。

計画の成果目標 (定量的指標)

通学路において、通学路緊急合同点検箇所及び継続的点検により必要対策箇所 (道路管理者対策箇所) となった箇所を解消することで、児童・生徒が安全で通行できる通学空間を確保する。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値

当初現況値 (H26当初)	中間目標値 (H28末)	最終目標値 (H30末)	備考
0%	-	80%	

①通学路緊急合同点検において、対策必要箇所 (道路管理者対策分) として挙げられた箇所の整備率 (%)
= 対策が完了した箇所数 (箇所) / 対策必要箇所 (道路管理者対策分) の総箇所数 (箇所) × 100 (市町村道分)

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	1,423.百万円	A	1,423.百万円	B	C	.百万円	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	---	------	---	-----------------------------	------

交付対象事業

A1 地方道路整備事業													効果促進事業費の割合								
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	省略工種	率 (基本)	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	備考
													H26	H27	H28	H29	H30				
1-A2	道路	一般	小美玉市	直接	改築	0.55	小美玉市	市町村道	改築	市道小107号線 (小川小)	歩車共存 L=1110m W=9.6/5.5m	小美玉市						385	-		
1-A3	道路	一般	小美玉市	直接	改築	0.55	小美玉市	市町村道	改築	市道美2-10号線 (羽島小)	歩車共存 L=475m W=9.0/5.5m	小美玉市						200	-		
1-A4	道路	一般	小美玉市	直接	改築	0.55	小美玉市	市町村道	改築	市道美2-9号線 (羽島小)	歩車共存 L=950m W=7.5/4.0m	小美玉市						399	-		
1-A5	道路	一般	小美玉市	直接	改築	0.55	小美玉市	市町村道	改築	市道美417号線外1線 (納場小)	歩車共存 L=517m W=8.8/6.0m	小美玉市						117	-		
1-A6	道路	一般	小美玉市	直接	改築	0.55	小美玉市	市町村道	改築	市道玉301号線 (玉里北小)	歩車共存 L=300m W=8.1/4.0m	小美玉市						92	-		
1-A7	道路	一般	小美玉市	直接	改築	0.55	小美玉市	市町村道	改築	市道美1-11号線 (竹原小)	歩車共存 L=580m W=9.25/5.5m	小美玉市						230	-		
													小計 (地方道路整備事業)					1,423			
													小計 (道路事業)					1,423			

C 効果促進事業

C1 道路効果促進事業													事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	省略工種	率 (基本)	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H26	H27	H28	H29	H30				
													小計							

番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考

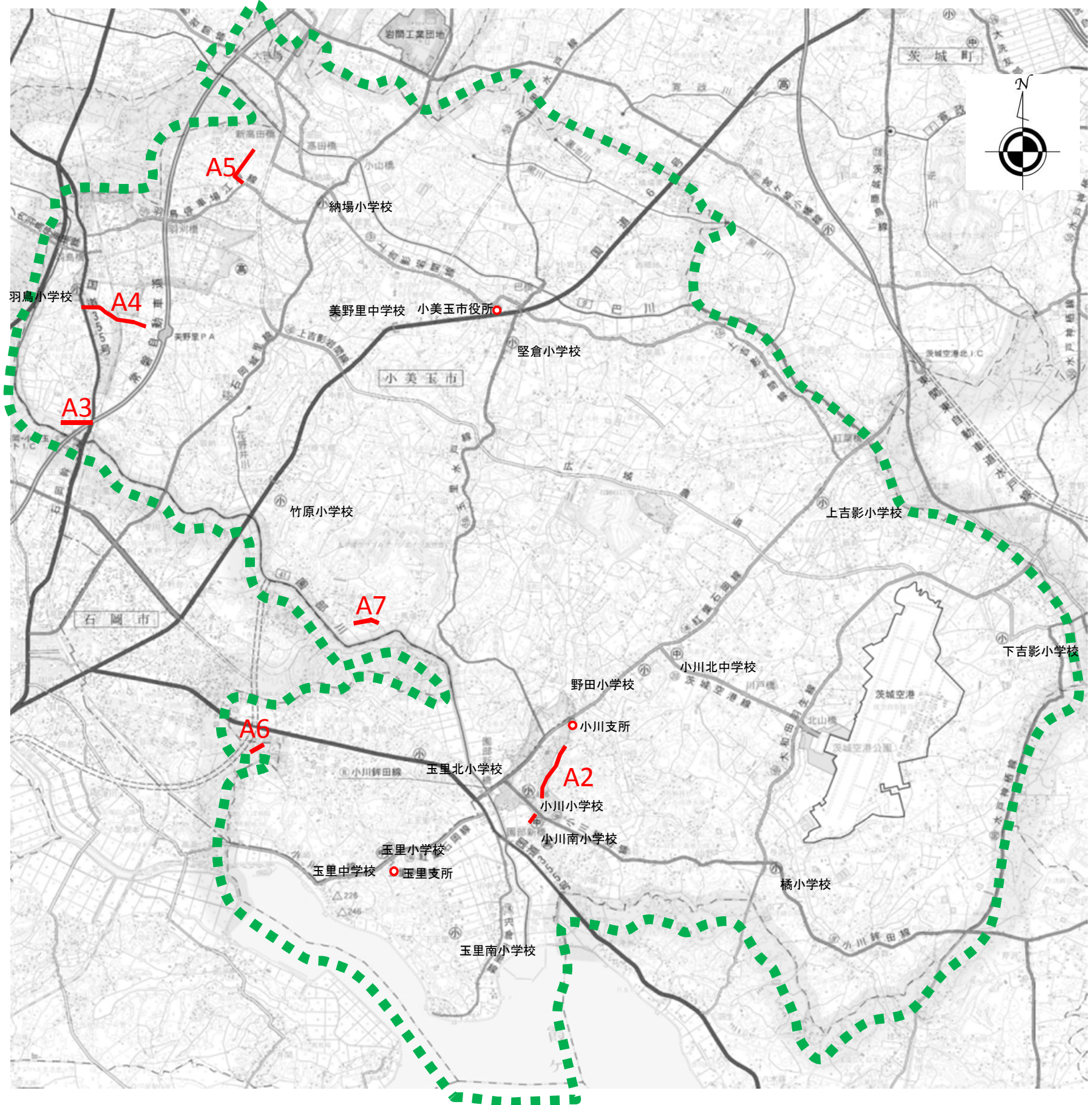
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考					
									H26	H27	H28	H29	H30							
番号	一体的に実施することにより期待される効果																			備考

(参考様式3)

(参考図面)防災・安全整備計画

計画の名称	小美玉市の安心安全なうるおいあるまちづくり(防災・安全)		
計画の期間	平成26年度 ~ 平成30年度 (5箇年)	交付対象	小美玉市



凡例	
歩車道共存拡幅	—
歩道整備	⋯
効果促進事業	⋄